

心のつながりシート



地域の老人ホームとの交流 ～アクリルたわしを届けました～



作成したアクリルたわし

老人ホームの交流が中止となり、何かできないかと考えました。



1つ1つ
丁寧に作りました。



みんなで心を込めて
作ったアクリルたわしと
メッセージカードです！



先輩から後輩へ、
伝統と技術を受け継いでいきたいです。

代表生徒が、施設長さんに
アクリルたわしとメッセージカード
を届けました

3 すべての人に
健康と福祉を



小松川第三中学校特別支援学級では、毎年、地域にある特別養護老人ホーム「ウエル江戸川」との交流会を開き、歌や体操を通して交流を深めてきました。生徒の歌声に涙される利用者の方もいらっしゃり、毎年の貴重な体験となっていました。

ところが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で交流会が行えないため、「代わりに何かできることはないか」を考え、利用者の方に手作りのアクリルたわしと手紙を渡すことにしました。アクリル毛糸を丁寧に編んでいく作業に生徒たちは、「難しい。」「大変だった。」と伝えていましたが、心を込めて作成しました。

作成したメッセージカードは代表生徒3名がウエル江戸川に届け、施設の方にお渡ししました。とても喜んでくださり、「また是非交流会をしましょう。」とだけいただきました。